

韓国の中学校における 舞踊課題学習の成果

鄭 柴 徳 姫
眞 理 子

1. 研究目的

本研究は、日本で成果をあげている舞踊課題学習を韓国の中学校で実践して、それを韓国へ導入することの有効性を検討することが目的である。

2. 研究方法

(1)韓国の中学校におけるダンスの位置づけ

「中学校教師用指導書(体育)」(民文庫)^[1]を取り上げ、韓国の中学校における体育の目標・内容及び体育におけるダンスの位置づけをみた。

(2)韓国の中学校での「舞踊課題学習」による実験授業の実施及び調査

4回の実験授業実施前後と毎回の授業終了時に、調査用紙を配布し、生徒のダンスに対する意識や感想、自己評価を求めた。

【対象】韓国全南麗水市ジンソン女中2年生44名

【期間】1994年4月11日～4月14日

【課題】1回目：〈走一止〉、2回目：〈伸一縮〉

3回目：〈集一離〉、4回目：〈風〉

3. 結果と考察

(1)ダンスの位置づけ

舞踊教育は体育の中に位置づけられており、週3時間のうち1時間がダンスにあてられる。ダンスの目標は「①舞踊の種類認識②動きの色々な表現と構成方法の習得及び創作能力の鼓吹③舞踊の基礎技能の理解④韓国舞踊の特徴の理解」^[1]であり、創作能力の向上と同時に自国の舞踊の理解を重視・期待されていることが分かる。

(2)「舞踊課題学習」による実験授業の成果

表1. 毎回実験授業に関する感想

質問	回目	1回目	2回目	3回目	4回目
1. 課題のやり易さ		3.30	3.41	3.23	3.40
2. イメージ・アイデア		3.14	3.22	3.17	3.08
3. 創れた		3.20	3.24	3.14	3.33
4. 踊れた		3.32	3.24	3.23	3.35
5. 楽しかった		3.95	3.76	3.69	3.75
合計		16.91	16.87	16.46	16.91

①表1から、「授業の楽しさ」に対する評価が、いずれの質問項目においても最も高く、4段階評価で毎回3.69以上の高い値を示しており、生徒達が毎回この学習方法及び内容を楽しみながら、体験できたことがわかる。生徒はどの課題に対しても、3以上の評価で、その課題からイメージを広げ、5～6人のグループでデッサンをし、発表するという活動を楽しんで行ったことがわかる。

②課題学習の5つの局面の楽しさについての5段階評価の結果から、その楽しさは、鑑賞(4.6)、ウォーミングアップ(4.28)、グループでデッサン(4.08)、発表(4.05)の順であった。生徒は、創る、踊る、観るといふいずれの活動も楽しみ、

この課題学習は楽しみを持って行える学習方法であることがわかる。

③実験授業実施前のダンスの好嫌調査では、「先生が怖い」「考え通りに体がついてこないの」「みんなの前で踊ることは恥ずかしい」等の理由

表2. 創作ダンスに対する意識変化 (N=44)

内 容	人数	%	評価
1. ダンスが好きになった	21	47.7%	肯 定
2. 恥ずかしさが少なくなった	29	65.9%	
3. 思いきり動けるようになった	20	45.5%	
4. ダンスに積極的に取り組めるようになった	9	20.5%	
5. 心で思うことが表現できるようになった	20	45.5%	
6. 体を使って表現することの楽しさを知った	19	43.2%	
7. イメージが良く浮かべるようになった	10	22.7%	
8. ダンスを観る力がついた	8	18.2%	
9. ダンスが嫌いになった	2	4.5%	否定
10. その他	3	6.8%	
合計	141		

からダンスを「嫌い・大嫌い」と答えた生徒は44人中5人いたが、実施後では、表2に示す通り、2人に減っている。この2人についてみると、創作ダンスの肯定的評価項目も同時に、複数選択しており、授業を通して、何らかの成果があったことを認めていることがわかる。また、生徒の約50%がダンスが好きになったと答えており、表3に示したように、約90%の生徒が表2に示した創作ダンスの肯定的評価項目を複数選択していることから、ほとんどの生徒は創作ダンスに対して好感を持っており、接近できたといえよう。

表3. 表1の肯定項目数に対する人数 (N=44)

項目数	8	7	6	5	4	3	2	1	合計
人数	0	2	3	5	7	8	12	3	40

ダンスが好きになった理由は表4の通りである。

表4. ダンスが好きになった理由 (N=21)

	人数	%
楽しかった、面白かったから	6	28.6%
自由な動きで表現することができるから	7	33.3%
違う感覚を生かすことが出来るから	1	4.8%
この授業(創作ダンス)を受けたから	6	28.6%
記述数合計		20

4. まとめ

4回の実験授業を通して、生徒は創作ダンスの本質を認識し、創作ダンスに積極的にとりくめるようになったことと、舞踊課題学習は韓国の中学生にその活動を楽しみながら創作ダンスの本質に触れさせていることがわかった。即ち、舞踊課題学習は、韓国の中学生におけるダンスの目標の一つとして掲げられている創造性の育成(創作能力の鼓吹)にふさわしい指導内容、指導方法であると言ふことができよう。

参考文献

- [1] LEEM, B. and HAN, H. S., 「中学校体育2(教師用指導書)」, 民文庫, 1990年
[2] 文部省著作権所有「中学校指導書保健編」, 大日本図書株式会社, 1991年